

平成27年度事業報告書

平成27年 4月 1日から 平成28年 3月 31日まで

特定非営利活動法人キドックス

1 事業実施の方針

<プログラムの質と成果の向上 若者編>

・外部団体の研修や先行事例の研究等を踏まえて、プログラムの内容と利用者層の見直しを行った。利用者の評価指標や個別計画のシート等を全面リニューアルし、また利用者のフェーズに合わせたプログラム参加ができるようにプログラムの分割を行い、より適切な支援ができるように取り組んだ。

・卒業生や、なかなか足を運べていない利用者へも新たに追跡アプローチ事業を始めた（花王ハートポケット倶楽部地域助成による助成事業）。

<プログラムの質と成果の向上 保護犬編>

・下半期から取り組んでいたドッグシェルター化は資金の目処が立たずに来年度に向けて再度計画を練り直すこととした。

・譲渡促進については、目標期間の設定などを行い期日に向けて計画を立てることに取り組んだ。

・犬の評価テスト、トレーニングプランの内容等をリニューアルし、個々の保護犬が適切なトレーニングが受けられるように改善した。

<収入財源の強化>

・イベント等で積極的にファミリー会員登録者の広報を実施した。

・設備費や人件費等の高額な出費のための助成金は合計で4件得ることができた。助成金を元手に、施設内にチャリティグッズの工房とギャラリーを立ち上げ（公益財団法人公益推進協会第8回夢屋基金による助成事業）、グッズの企画や試作を行った（パルシステム茨城くらし活動助成金による助成活動）。来年度には、若者就労支援と自主事業拡大の両方の実現を目指した取り組みをスタートする。

<職員の労働環境改善>

・2015年度から職員を2名雇用（1名は現場のプログラム統括者、1名は事務局スタッフ）したことで、利用者の若者や保護犬へのプログラムを安定的に提供でき、支援プログラムの質の向上も実現できた（中央ろうきん若者ファンド助成事業）。

・業務一覧表と成果目標一覧表を作成して各スタッフの責任の所在と役割分担を明確化。また、スタッフの意思やルール共有のためのマニュアルルールブックも作成した。

<職員の人材育成>

・資格取得の支援を行い、1名がキャリアコンサルタントと社会福祉士、もう1名が産業カウンセラーの講座を受講。

・定期的なスタッフ研修（月1回の成果進捗確認ミーティングと、月2回のプログラムのケース検討を行う会議）を実施。

<子ども達への道徳教育活動>

・2015年度は自立支援プログラムに重点を置いたため、依頼をいただいた企画のみ実施。

<その他>

・2015年6月に、クラウドファンディング「japangiving」を通じ、たくさんの皆様からのご支援により、法人用の移動用車両（軽バン）を購入。プログラムやイベント実施の安定化を実現。

- ・2015年9月の台風18号被害における常総市被災支援を実施。ペット関連物資の配給や、犬の一時預かり支援を行った。
- ・他団体や行政機関の研修会・事例検討会・会議等に多数出席し、ネットワーク作りや情報共有、連携強化を行った。

2 事業の成果

主に、以下の事業を実施した。

- ・引きこもり・不登校の若者向けの自立支援事業「いぬのいえ」の実施
- ・保護犬の家庭犬トレーニングや心身のケア、保護犬譲渡促進事業
- ・講演活動、啓発活動など

■ 2015年度の利用者数・犬頭数

2015年度(2015/4/1-2016/3/31)成果

総利用者実数 (※単発利用者/親族利用者含む)	25名
定期利用者実数 (※単発利用者/親族利用者含まない)	11名
延利用者数 (※定期利用者のみ)	448名
進路決定者数	3名
進路決定率	27%
総トレーニング数	7頭
総譲渡数	7頭
台風18号被災犬預かり総数	5頭

■ 2013年5月1日～2016年3月31日 までの約3年間の集計

開始時(2013/5/1)から現在まで (※一般向けプログラムのみ集計)

人	総利用者数	64名
	定期利用者数	16名
	延利用者数	1067名
	進路決定者数	8名
	進路決定率	50%
犬	総トレーニング数	15頭
	総譲渡数	12頭

※ 年度別集計のため、プログラム成果にタイムラグが生じるため（例えば、プログラム参加した翌年に就労決定等）過去の年度も含めた集計を掲載しています。

■ 2015年度の事業別の活動実施回数・利用者数

事業名	活動カテゴリ	実施回数(回)	利用者合計(人)
若者たちの自立支援・職業 訓練事業/捨て犬の保護や 譲渡を促進する事業	自立支援いぬのいえ	198	25
	フリースペース	12	不特定多数
/捨て犬の保護やケア活動	お手紙会員	18	9
	交流イベント	3	34

を行う他団体のサポート 事業	セラピードッグ訪問	1	50
	ひきこもり相談員/事例検討会 /保護者説明会	3	12
	犬の譲渡会	2	不特定多数
	適応指導教室訪問	1	7
	ヨガ教室	15	6
捨て犬の保護や譲渡を促 進する事業	飼い主啓発活動	2	不特定多数
	動物保護団体のドッグ トレーニングサポート	10	50
子ども達への道德教育・動 物愛護教育・自立支援教育 事業	動物介在活動	2	180
若者自立支援ドッグプロ グラムの企画・運営・コン サルティング事業/若者自 立支援ドッグプログラム 広域的普及のための啓発 活動及び講演事業	講演会	4	95
	取材・見学対応	毎月随時	74
	啓発イベント	2	不特定多数

3 事業の実施に関する事項

- (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額(単位:千円)
捨て犬の保護や譲渡を促進する事業	保護犬に家庭犬トレーニングを行い、里親家庭を見つかりやすくする。また、譲渡会を企画運営した。	(A)週4回 (B)キドックスファーム (C)4人	(D)犬をこれから飼いたい全ての世帯 (E)不特定多数	2209
捨て犬の保護やケア活動を行う他団体のサポート事業	犬を保護している動物愛護団体と協力し、その団体の保護犬に家庭犬トレーニングを行うとともに、譲渡会を実施した。	(A)週4回 (B)キドックスファーム (C)4人	(D)犬を保護している愛護団体の方々 (E)2団体	10
若者たちの自立支援・職業訓練事業	保護犬の世話やトレーニングを通じて、ひきこもりや不登校の若者へ自立支援を行った。活動の中で職業訓練や各種講座、ヨガ教室、イベント企画運営なども行った。	(A)週4回 (B)キドックスファーム (C)4人	(D)ひきこもりや不登校の若者15歳~39歳 (E)別表に記載	3672
子ども達への道徳教育・動物愛護教育・自立支援教育事業	学童期~高校生の子も達が、犬を通じて命の大切さを学べる教育プログラムを実施した	(A)年2回 (B)各教育機関やキドックスファーム (C)4人	(D)学童期~高校生の子もたち (E)約180人	71
若者自立支援 ドッグプログラムの企画・運営・コンサルティング事業	ドッグプログラムを行いたい・興味があるという方へのコンサルティングや見学受け入れ	(A)毎月随時 (B)キドックスファーム (C)1人	(D)活動に興味がある全ての人 (E)74人	10
若者自立支援 ドッグプログラム広域的普及のための啓発活動及び講演事業	ドッグプログラムの具体的内容や成果・実績についての講演会の実施、新聞・ラジオ・テレビ等メディアからの取材の受け入れ	(A)年8回 (B)キドックスファーム (C)4人	(D)活動に興味がある全ての人 (E)不特定多数(視聴者等含め)	13

(2) その他の事業
実施せず

以上